平成 22 年度

教育委員会の点検・評価結果報告書

平成 23 年 11 月

守谷市教育委員会

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

はじめに

教育委員会の点検・評価について	P 1
教育委員会	P 3
学校教育	P 8
1 学校教育・指導室事業	P 9
1) 確かな学力の育成	P 9
2) 豊かな心をはぐくむ教育の推進	P 11
3) 健康と体力をはぐくむ教育の推進	P 14
4) 新しい時代に対応した教育の推進	P 16
5) 開かれた学校づくりと学校・家庭・地域等の連携	P 19
2 給食センター事業	P 23
社会教育	P 25
1 生涯学習事業	P 26
1) 豊かな生活をめざした学習機会の充実と 人材バンクの活用	P 26
2) 学校、家庭、地域社会の連携による教育の推進	P 28
3) 学習活動・芸術鑑賞の場の提供と公民館活動の推進	P 31
4) 健康づくりの推進とスポーツ活動の充実	P 35
5) 郷土愛と文化財の保存・周知	P 37
6) 放課後子どもプランの充実と児童の安心・安全の確保	P 38
2 図書館事業	P 40
1) 気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館	P 40
2) 図書館機能の強化とサービスの充実	P 40
3) 施設・設備の安全	P 42
参考資料	
守谷市子ども読書推進活動所管別行動目標	P 43
学識経験者からの意見	P 45

付属書類

- (1) 平成22年度学校における成果と課題
- (2) 平成22年度守谷市の学校教育

<はじめに>

本年3月11日に発生した東日本大震災は、世界最大級のマグニチュード9.0の大地震と巨大津波により東北から関東地方の太平洋地域に甚大な被害をもたらすとともに、福島第一原子力発電所にも損害を与え原子力災害を引き起こし、多くの犠牲者と避難者を生む結果となりました。犠牲になられた方々の御冥福を心からお祈りしますとともに、一日も早い復旧・復興を願っています。

災害は、教育にも影響を及ぼしました。校舎がなくなったもの、あるいは壊滅的な被害を受け、学校としての機能を失ったもの、また、避難所となった学校では、しばらくの間、授業が再開できずに他の自治体の学校で授業を行うなど、東日本の教育被害は甚大なものがあります。幸い、被災県である茨城県の中でも守谷市は、公共施設、住宅等で一部損壊があったものの比較的被害が少なく、特に学校においては、通常どおり授業を実施することができましたが、原子力災害による放射線問題がいまだ収束の見通しが立っていない状況にあり、その対応に苦慮しています。

さて、守谷市教育委員会では、毎年度、市の教育目標を定め、その目標に向かって具体的な事業に取り組んでいます。

学校教育においては、学校・家庭・地域が連携し、全ての子どもたちに新しい時代の中、たくましく生き抜く力を育成するため、「守谷市学校教育プラン」を作成し、明日の守谷市を担う人づくりを行っています。また、児童の安全で健やかな居場所づくりの一環として、放課後子ども教室と児童クラブの相互連携を図った「放課後子どもプラン」事業を市内全小学校で実施しています。

社会教育においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに応えるため、中央公民館をはじめとする4つの公民館及び中央図書館、もりや学びの里を最大限活用した生涯にわたる学習を推進しています。

守谷市の教育施策については、市の総合計画や施政方針、「行政評価の報告書」、更に、議会に対する「決算に係る施策の成果説明書」などにより、構想や進捗、成果をお知らせしてまいりましたが「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理執行について学識経験者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、平成22年度の教育委員会活動の点検・評価を実施し、報告書にまとめました。

市教育委員会は、今後も守谷市の基本方針である「夢と希望にあふれるまち」の実現を目指して「新しい時代をたくましく生きぬく人づくり」に努めてまいります。

平成23年11月

守谷市教育委員会委員長 鮎川清勝